

法友

かわらばん

No. 5

発行日 2022年8月2日

発行

大阪弁護士会法友倶楽部

幹事長 森 直也

編集者

法友倶楽部広報委員会

委員長 山田敬子

編集長 石坂省悟

印刷 楳耕文社

表紙題字 故 滝井繁男先生

2022年度執行部、始動しています！

令和4年度 法友倶楽部幹事長 森 直也 (53期)

2022年度執行部が始動してから、本原稿執筆時点で既に3ヶ月が過ぎました。

新執行部が始動した4月1日には、3年ぶりに花見行事を開催し、家族連れを含む多くの会員にご参加頂きました。また、5月24日には、春季総会をリアル&WEB併用で開催しました。当日会場には、ベテランの諸先生方を初め35名に及ぶ多数の出席を頂き、久しぶりに活気ある法友倶楽部が戻ってきた感がありました。ジュニア部の恒例行事である旅行も、今年度は6月10日～12日にかけて、総勢30名で北海道旅行を実現することができました。

一方幹事会では、本年度の新しい企画として、毎回当会委員会等で積極的に活動している会員を招いてその活動の一端をご報告頂く企画を始めました。第2回幹事会（5月19日）では、井崎康孝副会長に「法律相談事業の拡充」について、第3回（6月15日）では、今般少年法の改正による実名報道対象となった特定少年の弁護人を務めた玉野まりこ会員に「特定少年の実名報道」についてそれぞれご報告頂きました。今後の幹事会においても、様々な活動を行っている法友倶楽部会員にお越し頂き、その知見を会内で共有する機会を提供できればと思います。

2022年度執行部では、今後も、コロナの状況を見据えながら、できうる限り会員相互の親睦を深める行事を行っていきたいと思います。どうか宜しくお願致します。



ご意見をお聞かせください

令和4年度 大阪弁護士会副会長 井崎 康孝 (54期)

この原稿を書いている時点（6月末）で、副会長就任から早くも約4分の1が過ぎました。諸先輩方からお聞きしていたとおり、就任後は時間が経つのが本当に早いです。日々の業務や突発的な出来事への対応に追われ、本当に「やるべきこと」にまてなかな手が回らない状況が続いています。しかしもう助走期間は終わりましたので、改めて気を引き締め、これから着手、実行に移していきたいと思っています。

執行部には本当に多くの情報が集まってきます。また、会員、市民、職員等から様々な意見も聴こえてきます。それらに接していると、当会が抱える問題を発見、再認識するとともに、問題を全員が納得できる形で解決することが容易でないことに気付かされます。しかし会としては方針を決定しなければなりませんので、会長・副会長で議論したうえ、1つ1つ決定していています。福田会長や他の副会長のご意見には気付かされることが多く、日々勉強になっています。また、福田執行部はとても風通しのよい雰囲気ですので、末席の私の意見にも皆さん熱心に耳を傾けてくれます。これからも充実した議論をしていきたいと思っておりますが、私にとっては、法友倶楽部の皆さまのご意見が、議論をするうえで貴重なベースとなっております。ぜひこれからもご意見をお聞かせください。よろしくお願いたします。



総会議長

池内清一郎 (40期)



令和4年度
総会議長を仰
せつかりまし
た池内清一郎
です。法友俱

楽部からの総会議長は前田春樹先生以来です。総会は、定期総会と臨時総会があり、定期総会は6月14日に終了しました。定期総会の主な議案は、決算、予算の承認です。本年度の定期総会は、お陰様で7つの議案全てが可決承認され、無事終えることができました。出席者の動員や委任状の提出など法友倶楽部の会員の皆様にはお世話になりました。総会は、会員のだれもが参加し、直接役員に質問し、意見を述べるすることができます。若い会員の皆様は、参加し、意見を述べることはなかなか難しいかもしれませんが、若い会員の皆さんが参加していただくと有り難いです。今年度は、臨時総会が10月に予定されており、3月にも開催されるかもしれません。法友倶楽部の皆様にはお世話になりますが、どうかよろしく願い申し上げます。

厚生・会員サポート 委員会

委員長 中嶋勝規 (54期)



本年度、厚
生・会員サポ
ート委員会の
委員長に就任
しました。当

委員会は、会員の福利厚生と会員サポートを担っています。

福利厚生事業に関しては、コロナ禍も落ち着いてきていますので、観劇等の恒例行事についても是非実施していきたいと考えています。また、2年続けて中止を余儀なくされた大運動会も実施いたしますので、ご家族や事務局の方も含め多数のご参加をお待ちしています。

会員サポートに関しては、コロナ禍で会員相互のリアルの接触が難しかった状況で、その重要性が増しています。一人で悩まず、先輩、同期等に相談するのと同じように、会員サポートも選択肢の一つに加えてください。メンタル面でのサポートも協同組合が実施されています。本年度執行部のメッセージ「ひとりやない」は会員にも向けられたものだと思いますので、是非会員サポートを頼ってください。

職員人事委員会

委員長 竹岡富美男 (31期)



先日の定期
総会で本年度
予算案を見て
いると委員会
予算としては

もっとも少額な委員会です。

ところが実際の活動は、てんこ盛りです。

職員不祥事対応のための研修などもありますが、個人的に関心があるのは、新しく導入された事務処理システムが事務局にどのような影響を与えているかですね。

この10年、弁護士数の大幅増加にもかかわらず職員数は、ほとんど増えていません。

システムは、一般に、

- ① 堅確性
- ② 利便性
- ③ 効率性等

を目的にしています。①、②は概ね肯定的な意見がありますが、効率性は微妙です。事務局の一部への「負荷」が高まっているのも心配です。相談センターの活性化が言われていますが、会事務局の「健全性」が前提です。

刑事法制委員会

委員長 宮崎誠司 (47期)



一昨年、昨年に引き続き委員長を務めることになりました。裁判

員裁判が始まるまで刑事弁護活動に関わっていましたが、それ以降、刑事弁護活動からは遠ざかり、刑事事件にまつわる実績も知識の集積もありませんでしたが、関心だけは残しておいたことが当委員会と接点を持ち続けることになった所以です。

現在、法制審議会で審議中の性関係犯罪規定の改正にかかる問題や、再審手続の不備の是正問題、医療観察制度にまつわる司法精神医療の在り方の問題など刑事法制にかかる大きな問題について時間をかけて議論し、シンポで披歴するなど対外的な働きかけも行っています。当委員会では事務的な負担はほとんどありません。日常的な手持ちの事件処理の合間に十分に活動できますので、皆さん、一緒に関心を持って議論しませんか。

犯罪被害者支援委員会

委員長 平瀬義嗣 (63期)



昨年度に引き続き犯罪被害者支援委員会委員長を務めておりま

す平瀬義嗣です。

昨年度の当委員会の担当副会長は中嶋勝規先生でしたが、今年度は井崎康孝先生となり、奇しくも2年連続法友倶楽部の先生にお世話になることとなりました。そのため、大変心強い思いでおります。

当委員会は、大阪府下の全ての基礎自治体に犯罪被害者等支援条例を制定するよう求める要望書の原案を作成し、本年3月に会長名で発出されました。犯罪被害者等支援条例の制定は全国で活発化しており、今年度はこの要望書をもとにより多くの自治体に条例の制定を求めて働きかける所存です。

また、当委員会では、困難案件のバックアップや、各会員のスキルアップのための研修を行っております。引き続き法友倶楽部の先生方のご支援をよろしくお願いいたします。

取調べの可視化・ 弁護人立会大阪本部

本部長代行 森 直也 (53期)



2019年（令和元年）6月1日、刑訴法改正により新設された同法

301条の2（いわゆる「可視化法」）が施行されました。同改正刑訴法附則9条は、施行後3年経過時に制度の見直しを行うとしており、今年がその3年目に当たります。見直しにおいては、現状検察庁独自捜査事件と裁判員裁判対象事件に限定されている可視化対象事件を、全事件に拡大しなければなりません。また、身体拘束下にある被疑者の取調べだけでなく、在宅事件の被疑者や参考人に対する取調べも対象とされなければなりません。

さらに、今回の3年後見直しを契機として、取調べの弁護人立会の制度化に向けての議論も加速していく必要があります。

このような重要な年に、当本部の本部長代行を拝命することになりました。

法友倶楽部の先生方の幅広いご支援ご協力を宜しく申し上げます。

日本弁護士連合会理事

山田敬子 (56期)



この度、御縁あって推薦を頂き、日弁連の理事に就任させて頂きました。

ました。

本年度に入り、既に3回の理事会に出席いたしましたが、理事会では、コロナ禍にも関わらず、全国からほとんどの理事の先生方がリアルで出席されており、現在法曹界が直面している問題・日弁連の活動などについて、活発な意見・議論が交わされています。

理事の先生方はもちろんのこと、日弁連の事務次長・嘱託の先生方など、我々と同世代やもっと若い期の先生方、幅広い年代の女性の先生方が活躍されており、毎回勉強と刺激を頂いています。

これらの問題意識や、情報を法友倶楽部にも可能な限り還元し、微力ながら多少なりともお役に立てるよう、精進致しますので、よろしく願い申し上げます。

日本司法支援センター
大阪地方事務所

副所長 辻村幸宏 (55期)



2020年12月より日本司法支援センター大阪地方事務所副所長（総務担当）を拝命し、この4月で再任され2期目（任期2年）に突入しました。お受けする時は私のような若輩者が務まるのかと不安でしたが、これも亡き小寺一矢先生のお導きと思い、素直にお受けしました。就任以降、常に在野法曹の視点から是非の判断をするように心がけています。

同じく総務担当の中井洋恵副所長と共に、主に情報提供業務と広報業務にあたり、弁護士会と共に取り組むべきテーマについては連絡役として時々役員室に飛び込み、膝を付き合わせて協議調整を行っております。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響でしばらくお休みしていた恒例の「法テラス寄席」も今年度実施予定ですので、市民の方に喜んでもらいつつ効果的な広報ができればいいなと思っています。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響でしばらくお休みしていた恒例の「法テラス寄席」も今年度実施予定ですので、市民の方に喜んでもらいつつ効果的な広報ができればいいなと思っています。

企画委員会

委員長 橋口 玲 (49期)



この度、企画委員長を拝命しました橋口です。昨年度の企画委員

会は、幹事長の諮問を受け、特別会計の模索や、会派にとっての会計の在り方等を模索され、大活躍をなさいました。今年度は、新しい会計の在り方の実施を見守ることと捉えております。そして、法友の会派としての位置づけ上、重要な「政策」の発刊に向けて、会活動の内外で活躍する若手を中心とした執筆陣による政策の練り上げを組成し、後方支援することを肝したいと思います。充実した「政策」のためには、若手の参加のみならず、IT化を含めて激変する司法の問題点を共有し、ベテランの先生方も多く巻き込んで検討すべく、一体感の醸成に努力致します。宜しく申し上げます。

広報委員会

委員長 山田敬子 (56期)



昨年度に引き続き、広報委員会の委員長を仰せつかりました、56

期の山田敬子と申します。

本年度は、従前より創立90周年事業とのコラボ企画として準備しておりましたホームページが、遂にオープン致しました。諸所の活動報告はもちろんのこと、会員紹介のページや、行事カレンダーなどのツールも充実しておりますので、是非一度ご覧ください。

また、本年度に入り、コロナ禍も落ち着き、法友倶楽部でもリアル開催での行事が実施されつつありますので、会報誌・かわら版・ホームページなどを使って、迅速かつ臨場感を持って、法友倶楽部の先生方の活動やご様子などをお届けできればと考えております。

会報誌・ホームページに拘わらず、ご意見や企画等ございましたら、忌憚なくお寄せ頂ければ幸いです。1年間、宜しく願い申し上げます。

親睦委員会

委員長 金 泰弘 (62期)



令和4年度の親睦委員長を仰せつかりました62期の金泰弘と申し

ます。親睦委員会は、この2年間、新型コロナウイルスの影響により、大幅に活動が制限されておりましたが、幸いにも、新年度以降は落ち着きを見せております。

直帰する生活に慣れてしまい、親睦企画に参加することへの心理的抵抗もあるかと思いますが、皆様のリハビリも兼ねて、楽しい企画を考え、実施していきたいと思っております。

最初の企画は、料理教室をリアル（オンライン併用）で開催予定で、HGCはもちろん、秋ごろには家族も参加OKのBBQなどができればと考えております。

親睦を通じて、弁護士だけでなく、事務局さん、家族も含めた会派全体を盛り上げる一助となればと思いますので、ぜひ多くの皆様にご参加いただければと思います。

一年間、どうぞよろしく願いいたします。

法曹交流委員会 委員長になりました

委員長 中塚 雄太 (60期)



令和4年度法友倶楽部法曹交流委員会委員長になりました、60期

の中塚雄太です。今年度は、研修委員と法曹交流委員が同一となり、委員長も、昨年同様、兼任となりました。

修習生との交流会は、昨年度、新型コロナウイルスの影響で流れてしまいました。今年度も、修習生との交流会を実施すべきどうか、常幹とも連携しつつ、委員会内で検討して参りたいと思っております。

また、先輩事務所の訪問企画について、検討をしております。もしお声がけをさせていただいた場合には、ご協力いただけますと幸いです。

OJTについては、体制は整えられているのですが、昨年度まで、あまり利用されてきたとは言えない状況です。委員会内で、活性化について引き続き検討を行いたいと思っております。

これまで委員長経験がなく、不慣れでご迷惑をおかけすることも多々あると思っておりますが、宜しく願い致します。

研修委員会委員長になりました

委員長 中塚雄太 (60期)



令和4年度
法友倶楽部研
修委員会委員
長になりました

た、60期中塚雄太です。

今年度、研修委員会では、法律事務所の経営について勉強する企画を検討中です。事務所経営について勉強できる機会は少ないと思いますので、開催の際には是非ご参加いただけますと幸いです。ジュニアの先生方からいただいた貴重な意見も、とても参考にさせていただきます。

また、今年度、研修委員会では、NPO法人遺言・相続・財産管理支援センターとのコラボもしたいと思っています。10年前に法友倶楽部80周年記念事業の一つとして設立された団体で、私も理事であり、今年、『終活契約の実務と書式』を出版する予定ですので、終活に関係する研修をさせていただくかもしれません。

委員長経験は初めてですので、ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、何卒、宜しくお願い申し上げます。

ジュニア部代表幹事挨拶

代表幹事 中島裕一 (66期)



令和4年度
ジュニア部代
表幹事の中島
裕一です。今
年度は、67期

の玉野まりこ先生、73期の竹田仁先生と3人でジュニア部を運営してまいります。

コロナ禍の中でも例会が途絶えないようにと、前年度、前々年度代表幹事の先生方が工夫を凝らし、繋いでいただいたバトンを受け取り、コロナ前の活気あるジュニア部の復活を目標に、尽力してまいります。

さて、今年度は、例会を原則対面に切り替え、4月は年間予定を決める会、5月はソムリエを招いてワインの勉強会を行い、約25名の先生方にご参加いただきました。

また、6月にはジュニア旅行を実施し、30名近くの方にご参加いただき、大盛況となりました。

この勢いを絶やさず、1年間全力で駆け抜けたと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

代表幹事 玉野まりこ (67期)



令和4年度
ジュニア部代
表幹事の玉野
まりこです。

5月から6

月にかけ、久しぶりにジュニア部の先生方と直接お会いし、一緒にお酒を楽しんだり、旅行に行ったりすることができました。オンラインによる交流では味わうことのできないにぎやかな雰囲気に触れ、改めて人とのつながりの大切さを実感しました。これまでジュニア部の例会にはあまり参加できていませんでしたが、毎月楽しみにしています。

日々お忙しく足が遠のいていた先生方にも、入会されて間もない先生方にも、「行ってみようかな」と思っていただけのジュニア部になるよう、中島先生を中心に盛り上げていきたいと思っております。

ぜひ積極的にご参加いただき、横のつながり、縦のつながりを広げてください。

1年間どうぞよろしく願い申し上げます。

第3回HGC報告

山田一仁 (65期)



令和3年度の最後のHGC杯は、名門ゴルフ場として名高い美奈木ゴルフ倶楽部で開催されました。

当日は朝から雨模様で、プライベートゴルフなら心が折れてキャンセルしてもおかしくない状況でした。

しかし、名門ゴルフ場100選の上位に選出される美奈木ゴルフ倶楽部は良く整備されており、フェアウェイはところどころ水が浮いている箇所があるものの、グリーン上は少し重たい程度で、何とか前半の9ホールを乗り切りました。

午後雨は弱まる気配はありませんでしたが、小林俊康先生始め参加会員のほとんどが午後ラウンドされ、何とか最後までプレーできました。

雨の中で、スコアに差が出にくい状況で、HDが多い私が棚ぼたで優勝させていただきました。



わたなべ たかし
渡邊貴士 (70期)
弁護士法人One Asia

皆さま、初めまして。この度ご縁をいただき法友倶楽部に入会させていただきました第70期の渡邊貴士と申します。

私は生まれも育ちも大阪府八尾市という河内の出ですが、学生時代の6年強を京都で過ごし、そこで「和」の魅力に気が付きました。学生時代は多分に漏れず飲食店でのアルバイトに勤んでおりましたが、アルバイト先を選ぶテーマは「京都っぽい」でした。先生方は石堀小路というエリアをご存知でしょうか。京都っぽいというところはやはりと祇園が容易に想像される場所ですが、石堀小路も負けていません。それどころか隠れ家感などで祇園よりも「和」を感じるエリアで京都っぽいともいえそうです。そんな私は最近、香道を始めました。これまた非常に「和」であり、ガサツな私を修練するにはうってつけだと感じております。

スポーツではずっと水泳をしていたこともあり、トライアスロンにチャレンジしております。スイムにバイク、ランと身体の使い方が異なる競技を続け様に行うことで、あたかもコース料理を食べた時のような満足感があります。

弁護士として顧客満足度を高めるためには人としての幅の重要性を痛感しております。もとより幅狭く未熟な私ですが、日々心身とも研鑽に励みますので、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ致します。



あらい たける
新井 彪 (74期)
にしてんま法律特許事務所

法友倶楽部の皆様、はじめまして。この度、法友倶楽部に入会させていただくことになりました、74期の新井彪と申します。

私の出身は、兵庫県の明石市です。実家が明石では有名な酒蔵の近くなのですが、まだそこのお酒を飲んだことがありません。近いうちに買って飲んでみようと思います。

インドア派で、遊びに行くときはもっぱら神戸でしたので、大阪にはあまり来たことがなく、まったく詳しくありません。

最近、中之島美術館に行ってきました。これから大阪のいろいろな場所を巡ってみたいと思います。大阪の美味しいお店やおすすめのスポットなどございましたら、是非教えてください。

弁護士登録から2か月となりました。日々課題に取り組んでいますが、力不足を痛感するところです。様々なことを学び、一人前の弁護士となるべく、努力を続けていきます。

もとより、未熟な身ではございますが、どうぞこれからのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



さだかねのり お
貞兼紀夫 (74期)
崎岡綜合法律經濟事
務所

法友倶楽部の皆様、初めまして。この度、法友倶楽部に入会させていただくことになりました74期の貞兼紀夫と申します。出身は山口県ですが、幼少期から大阪で育ち、大学時代に数年京都に住んだ以外は大阪で過ごしてきました。好きな小説は、『邪宗門』と『白い巨塔』です。運動経験は、高校までは野球、大学時は少林寺拳法をしていました。現在は仕事で色々な都道府県に行く機会があり、日々充実した生活を送っております。

私の趣味は旅行ですが、その中でもとくに観光地化されていない場所へ行くのが好きです。僭越ながら今まで行った中で印象に残った場所を記載させていただきます。好きな町並は、山形市、広島市、仙台周辺、七尾市（石川）、村上市（新潟）です。行って良かった場所は、大歩危小歩危、蔵王山、天竜川（川の色が独特）、姫川（いつか翡翠を見つけたいです）です。美味しかった食べ物は、麵処綿谷（香川）、金目鯛（静岡）、ホッキカレー（苫小牧）、ラッキーピエロと函太郎（函館）です。

今後は、1人でも多く法友倶楽部の皆様とお話しさせていただく機会があればいいなと考えております。未熟者ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ致します。

出 身 高 校 大阪府立堺西高校

出 身 大 学 同志社大学法学部
法律学科

法科大学院 関西大学法科大学院



あんざい み ち よ
安齋美智代 (74期)
弁護士法人
大江橋法律事務所

法友倶楽部の皆様、初めまして。この度、法友倶楽部に入会させていただくことになりました、74期の安齋美智代と申します。

栃木県宇都宮市の出身で、修習から関西に住み始めましたので、関西生活は2年目に入りました。

趣味はゲームをすること、美味しい食事を食べ美味しいお酒を飲むことで、土日は時間の許す限り新作のゲームに手を出しつつ、自宅周辺のごはん屋さんを開拓している最中です。もともとウイスキーとビールが好きで、ヨーロッパにお酒巡りの旅に出ようとしていた矢先にコロナで旅の計画がストップしてしまった状況でしたので、今年から来年（か再来年）には是非ともヨーロッパ旅行に行き、本場のウイスキーとビールを飲みたいと思っております。

また、神戸修習であったこともあり、友人に誘われて行った宝塚歌劇にも少しはまりつつあります。宝塚観劇につきましては今後観劇回数を増やしていこうと考えておりますので、是非先人の先生方がいらっしゃいましたらお声がけくだされば幸いです。

まだ勤務開始から2か月程度で右も左もわからないような状況ではございますが、諸先輩方のご指導の下研鑽を怠らず日々精進してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



かねほらゆうせい
金原佑征 (74期)
弁護士法人
大江橋法律事務所

法友倶楽部の皆様、はじめまして。

この度、法友倶楽部に入会させていただくことになりました74期の金原佑征と申します。

私は、京都府京都市の出身で、大学までを京都で過ごし、司法修習を機に初めて京都を出て、神戸で1年間の修習生活を過ごしました。修習地の神戸では、様々な出会いに恵まれて、刺激的な修習生活を送ることができ、あっという間の1年間となりました。神戸を離れることは名残惜しくもありましたが、新天地である大阪で弁護士としての第一歩を踏み出すこととなり、これからどんな出会いがあるのか、わくわくしております。

私は、車が好きで、幼い頃にはミニカーを集めたりしていたのですが、年齢を重ねるにつれて興味が薄れ、ミニカー収集からもしばらく遠ざかっておりました。しかし、近頃収集熱が再燃し、ここ最近、幼い頃には買ってもらえなかった少し高級で精巧なミニカーを自分で買ったりして楽しんでいきます。いつかは、ミニカーと言わず、自分の車を買って各地をドライブできればと思っています。

もとより未熟ではございますが、日々研鑽に努めて参る所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



わたなべようすけ
渡邊陽介 (74期)
きよた総合法律会計
事務所

皆様、はじめまして。第74期の渡邊陽介と申します。

出身は兵庫県川西市で、関西大学法学部を卒業後、関西大学法科大学院を修了し、鳥根県松江市での約一年間の修習を経て、この度、法友倶楽部に入会させていただきました。

法科大学院時代に課外活動の出張法律相談で2度鳥根を訪れていたこと、高校時代の親友が転勤で鳥根にいと聞いていたことから、松江を第5希望に書いたのですが、修習地が決まった後、親友が住んでいる益田市と松江市が約167km離れていて特急列車に乗っても約2時間10分かかると判明し、鳥根県の広さを思い知りました。同期全員とても仲が良く、実務庁の皆様が快く受け入れてくださったうえに、鳥根県は、日本海で獲れる海の幸や宍道湖で獲れる魚介類が絶品で、酒蔵が多く美味しい日本酒も豊富だったため、非常に充実した修習を送ることができました。

趣味はプロ野球観戦です。千葉ロッテファンですが、他の11球団にも興味があり、先日参加させていただいたジュニア部旅行では、新球場移転前の最後の機会と思ひ、一人で札幌ドームまで試合を観に行きました。

もとより未熟ではございますが、謙虚に日々研鑽に努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



にった ゆ か
仁田純佳 (74期)
弁護士法人
川原総合法律事務所

生年月日 1992年7月13日
出身地 大阪市
出身高校 筑波大学附属高等学校
出身大学 早稲田大学政治経済学部
法科大学院 早稲田大学法務研究科
趣味 食べ歩き、万年筆インク収集、ゲーム、TRPG、脱出ゲーム、ラジコン (初心者)

皆様、はじめまして。この度、法友倶楽部に入会させていただきました。第74期の仁田純佳と申します。

父の転勤により長らく東京で暮らしておりましたが、弁護士登録を機に、大阪に戻ってまいりました。食べ歩きが好きで、量もかなり食べる方なので、美味しいものがあふれている大阪に戻ってこられて、毎日が本当に楽しいです。

休日はよくゲームをしております。最近はスプラトゥーンで遊ぶことが多いので、9月に新作が発売されるのをとても楽しみにしています。他にも、複数人でおこなうTRPGや脱出ゲームにも何度も参加しています。特に脱出ゲームでは、初対面の人との協力が要になるものも多く、皆で知恵を寄せ合いながらクリアできたときの快感が癖になります。脱出ゲームは、一つの大部屋の中で遊べるものから、外を散策しながら謎解きするタイプのものまで多種多様です。もしご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ一緒に

遊びに行ってくださいると嬉しいですよ。

弁護士になって2ヶ月とまだまだ未熟ではございますが、どうぞこれからご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。



つだともか
津田朋香 (74期)
瑞木総合法律事務所

法友倶楽部の皆様、はじめまして。

この度、法友倶楽部に入会させていただきました。第74期の津田朋香と申します。

人と話すことが好きで、10年ほど複数の飲食店で接客のアルバイトをしていました。その中でも、お好み焼き屋では長く働いていました。なぜなら、小さい頃からお好み焼きが好きで、その店でアルバイトをすればまかないでお好み焼きが食べられるからです。

趣味は、よしもとの舞台を見に行くことです。笑うことは健康に良いと聞くので健康のためとかこつけてお笑いを観に行っています。

お好み焼きとお笑いが好きで大阪生まれ大阪育ちという生粋の大阪人だねと言われますが、期待するほど面白い話にはできません。ですが、人と話すことは好きなので話しかけてくださるととても嬉しいです。

弁護士を志したのは、小学生の頃に女性弁護士が活躍するドラマを見たことがきっかけでした。現実に弁護士業に携わるようになると、ドラマのように、何でも知っていて、何でも解決できる弁護士

になるのはとても難しいことであると痛感しています。ですが、法友倶楽部の皆様からもご指導いただきながら、一步ずつ成長していきたいと考えています。

どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



おちかれいな
尾近 令奈 (74期)
尾近法律事務所

生年月日 1992年9月14日
出身地 大阪府堺市
出身高校 四天王寺高等学校
出身大学 大阪大学外国語学部
法科大学院 京都大学法科大学院
趣味 観光・旅行、カフェ
巡り、音楽・ドラマ鑑賞、華道

皆様、はじめまして。この度、法友倶楽部に入会させていただくことになりました、74期の尾近令奈と申します。私は、京都での1年間の修習を経て、今年4月に父親の法律事務所に入所いたしました。私は、入所後、中小企業の不動産関係の紛争を主に扱っております。委員会は、子どもの権利委員会と消費者保護委員会に所属させていただくことになりました。

私は、外国語学部（フィリピン語専攻）出身で、大学では、言語の他、フィリピンの社会文化、東南アジアの社会文化等についても専門として学んでいました。学生時代、長期休暇にはアジア旅行によく行っており、フィリピンには旅行だけでなく、被災地の復興支援や JFC 支援の関係でも行っていました。また、茶道部に所属し様々な国籍の留学生と茶道をし

たり、留学生に対して日本語や生活指導をするアルバイトをしたり、フィリピン語での演劇やバンブーダンスをしたりと日々異文化に触れて生活していました。

京都での修習中は、友人と寺院巡りやカフェ巡りをしたり、ゴルフをしたり、生け花発祥の地で華道を習ったりと京都を存分に楽しんでいました。最近でも時々京都に行って寺院巡り等を楽しんでいます。

もとより未熟者ではございますが、法友倶楽部の先生方におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願ひ致します。



たけだ みさき
武田 美砂妃 (74期)
弁護士法人琥珀法律事務所

出身地 大阪府河内長野市
出身高校 大阪府立生野高等学校
出身大学 大阪大学法学部
法科大学院 京都大学法科大学院
趣味 音楽、マンガ、散歩

皆様、はじめまして。この度、法友倶楽部に入会させていただくことになりました、74期の武田美砂妃と申します。

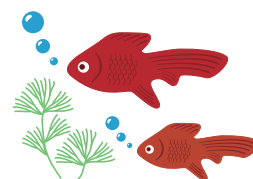
出身は大阪府河内長野市です。大学時代までを大阪で過ごし、京都にてロースクールでの2年間を送った後、大阪に戻ってまいりました。

趣味は音楽鑑賞です。また、中学時代に吹奏楽部でパーカッションの担当になったのをきっかけに、高校ではバンドを組み、ドラ

ムをしていました。そして、修習時代にまたご縁があり、修習生同士でバンドを結成し、練習に明け暮れたのはとても良い思い出です。コロナの影響等で、残念ながらライブをすることはできなかったもので、いつかまた実現できればと考えています。音楽は今後もゆるく続けて行きたいと思っておりますので、もし同じ気持ちの方がいらっしゃれば、お声がけいただけると嬉しいです。

修習で仲良くなった友人の多くは東京に行ってしまう、寂しい気持ちもありましたが、法友のイベントでお会いした先生方や同期の皆様はとても優しく、今後もイベント等に参加させていただくのが楽しみです。

これからどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



春季総会を実施しました

庶務担当常任幹事 藪根 壮一 (64期)

令和4年5月24日、弁護士会館でのリアル会議とZoomを併用する方式で春季総会を実施しました。



本年度は、久しぶりに式典の部と懇親の部の2部構成で実施することができました。

式典の部では、本年度春の叙勲を受章された竹岡先生に祝意を表したほか、昨年度大阪弁護士会副会長の重責を務められた中嶋先生に慰労の花束を贈呈しました。また、井崎先生より、本年度の副会長としての取り組みについてお話をいただきました。

審議事項においては、昨年度の企画委員会における財務状況の検討結果を踏まえて、法友倶楽部の会費を本年度より減額することが決まりました。

報告事項においては、90周年記念事業について、弁護士会への記念品の贈呈、記念誌の発行、ホームページの開設をもって一区切りとし、以後は100周年に向けて力を蓄える方針が発表されました。

懇親の部では、昨年度の秋季総会に引き続いて、感染症対策に配慮しつつ、弁護士会館の会場にて食事を準備して懇親会を開催しました。

食事の提供方法が各自のテーブルに配膳されるスタイルに変わり、席を立つ必要がなくなったため、落ち着いて懇親を深めて頂けたようでした。懇親の部は、久しぶりに対面で親睦を深める機会となり、盛会のうちに終えることができました。



独立しました

アップリーガル法律事務所

高見 晋祐 (64期)

弁護士登録以来10年と4か月、ベリーベスト法律事務所大阪オフィスにて勤務してまいりましたが、令和4年5月1日より、アップリーガル法律事務所に、パートナーとして合流いたしました。



この合流を決断したのには様々な理由がありますが、弁護士生活10年を迎えるにあたり、やはり一度は事務所経営をしたいとの思いが強くなったというのが一番です。また、正直なところ、事務所経営をしたいとはいえ、一人で独立するほどの勇氣はなかったのですが、アップリーガル法律事務所を開業した司法修習同期・同班の小仲真介弁護士に誘ってもらい、決断することができました。小仲弁護士は、私が二回試験後に行った初めての海外旅行でスーツケースを別の旅行客に持っていかれた際に、これを取り戻してくれたこともある非常に頼りがいのある同期です。



ちなみに、事務所名のアップリーガル (applegal) は、アプリケーション (application) とリーガル (legal) を組み合わせた造語で、パソコンやスマートフォンのアプリのように、当事務所のリーガルサービスを通じて法律を依頼者の生活に便利に活用していただくことを理念としています。

今日までご指導等いただいた皆様には大変感謝しております。また、これまで以上に、皆様からご指導ご鞭撻をいただければ幸いです。

公式ホームページを 開設しました!

法友倶楽部では、令和元年度の創立90周年を記念して、新たに公式ホームページを開いたしました。

ホームページでは、法友倶楽部の活動報告をはじめ、法友倶楽部の会員個人の紹介ページも新設しました。

会員専用ページでは、行事予定や会報誌のバックナンバーなども掲載しています。

ぜひ一度アクセスください!!

アクセスはこちら
<https://hoyuclub.com/>



編集後記

今年度第1号となります、かわら版5号をお届けします。今号は、年度初めということもあり、挨拶やご報告の記事が中心となりました。また、ようやく開設にこぎつけたホームページのご案内も大々的に掲載して頂きました。かわら版・ホームページ共に、是非ご一読ください。(山田敬子)

法友かわらばん5号の編集長として無事発行することができ安心しています。山田委員長を筆頭に、田中先生、藪根先生、東井先生、上田先生、竹田先生のご協力のおかげですし、原稿作成者の皆様も滞りなくご提出頂きまして誠にありがとうございました。(石坂省悟)

初めて会報誌の編集に携わってから1年が経ちました。今回も短い期限の中で快くご執筆いただき、ありがとうございました。編集作業

を通じて新たな関わり合いを持てるのも醍醐味です。(田中章弘)

盟友である石坂先生が編集長に就任されるということで、副編集長として編集のお手伝いをさせて頂きました。今号の編集を通じて、法友倶楽部の先生方が各方面で重責を担っておられることを改めて実感しました。(藪根壮一)

石坂編集長から丁寧なLINEメッセージを頂戴し、これまでお世話になった数々の思い出が蘇り(断れるわけもなく)初めて法友かわらばんの編集に携わる機会を得ました。法友倶楽部の「いま」が伝わればと思います。(東井瑞起)

新入会員の先生方の自己紹介の編集を担当させて頂きました。皆さんの人となりに触

れることができ、楽しく貴重な経験となりました。石坂編集長には副編集長へのお誘いをいただき大変感謝いたします。

(上田祐也)

新入会員の挨拶記事を担当いたしました。皆様のフレッシュさに触れ、私も初心に戻ることができました。また、編集作業も初めてでしたので、貴重な機会となりました。石坂編集長にはお誘いいただき感謝いたします。

(竹田 仁)

